



RYUKOKU CINEMA 特別企画

ウクライナ情勢を知る映画紹介と 教員によるミニレクチャー

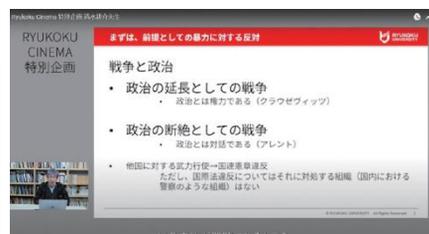
2月24日に勃発したロシア軍によるウクライナ侵攻について、本学の見解は2月28日に「ロシアによるウクライナ侵攻にかかる声明」を学長名並びにグローバル教育推進センター長名で発出したとおりです。

2021年度から、ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンターは「RYUKOKU CINEMA」と題し、社会的なテーマを題材にした映画と、龍谷大学の先生方や外部の講師の方による、テーマに関連したミニレクチャーで学ぶイベントを開催してきました。

今般、ウクライナ情勢の緊迫化を受け、ウクライナ情勢について理解を深めるための映画を紹介するとともに、各教員によるミニレクチャーを配信します。



入澤 崇 学長からのメッセージ



国際学部 清水 耕介 教授
ウクライナ紛争の読み方とその意味



政策学部 奥野 恒久 教授
プーチン政権によるウクライナ攻撃に接して一憲法学の視点から



レクチャー視聴、映画紹介は
こちらから